

# 自転車国内販売動向調査月報

平成 23 年 3 月分

この月報は、当協会が実施している全国100標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

**調査設計：**全国を9地域に分け、合計で100店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。  
なお調査店舗は年度毎に一部を入れ替えています。そのため対前年比の値は参考値です。

北海道・東北：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川  
 中部：山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
 近畿：三重、滋賀、奈良、和歌山  
 中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄  
 北関東：茨城、栃木、群馬  
 北陸：新潟、富山、石川、福井  
 京阪神：京都、大阪、兵庫

販売：1店当たり39.0台、前月比165.3%増

車種別構成比：シティ車32.2%、ホーム車40.3%、折りたたみ車2.6%、子供車3.1%、幼児車1.4%、マウンテンバイク2.1%、スポーツ車6.2%、電動アシスト車4.8%（中古車6.9%）

## 1. 調査店1店当たりの販売台数（総合）

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年3月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	13.5	32.2	5.7	35.6	236.8	11.2	37.2	120.5
ホーム車	16.9	40.3	5.1	31.9	331.4	10.5	34.9	161.0
折りたたみ車	1.1	2.6	0.3	1.9	366.7	0.6	2.0	183.3
子供車	1.3	3.1	0.6	3.8	216.7	1.3	4.3	100.0
幼児車	0.6	1.4	0.3	1.9	200.0	0.4	1.3	150.0
マウンテンバイク	0.9	2.1	0.5	3.1	180.0	0.7	2.3	128.6
スポーツ車	2.6	6.2	1.3	8.1	200.0	2.0	6.6	130.0
電動アシスト車	2.0	4.8	1.0	6.3	200.0	1.4	4.7	142.9
合 計	39.0	93.1	14.7	91.9	265.3	28.0	93.0	139.3
中古車	2.9	6.9	1.3	8.1	223.1	2.1	7.0	138.1
総合計	41.9	100.0	16.0	100.0	261.9	30.1	100.0	139.2
モーターバイク	0.7	1.7	0.4	2.4	175.0	0.6	2.0	116.7

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

## 2. 地域別車種販売台数・比率（1店当たり）

（平成23年3月）

[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	小計	中古車	合計	モーターバイク
北海道・東北 (15店)	9.9	13.9	0.9	0.9	0.5	1.5	2.9	2.2	32.6	7.7	40.3	1.1
	24.6	34.5	2.2	2.2	1.2	3.7	7.2	5.5	80.9	19.1	100.0	-
北関東 (5店)	36.4	55.6	5.4	1.8	0.4	1.0	2.4	1.8	104.8	4.4	109.2	1.0
	33.3	50.9	4.9	1.6	0.4	0.9	2.2	1.6	96.0	4.0	100.0	-
南関東 (20店)	7.5	22.1	1.6	0.8	0.5	1.8	1.8	3.0	38.9	2.9	41.8	0.5
	17.9	52.9	3.8	1.9	1.2	4.3	4.3	7.2	93.1	6.9	100.0	-
北陸 (7店)	15.6	10.7	0.1	1.4	0.9	-	4.1	0.7	33.6	2.0	35.6	1.3
	43.8	30.1	0.3	3.9	2.5	-	11.5	2.0	94.4	5.6	100.0	-
中部 (13店)	14.8	16.9	0.6	2.3	0.9	1.2	3.6	1.8	42.1	1.8	43.9	-
	33.7	38.5	1.4	5.2	2.1	2.7	8.2	4.1	95.9	4.1	100.0	-
京阪神 (14店)	13.9	11.4	0.5	2.3	0.9	0.1	2.3	2.9	34.3	0.6	34.9	0.4
	39.8	32.7	1.4	6.6	2.6	0.3	6.6	8.3	98.3	1.7	100.0	-
近畿 (6店)	13.7	6.5	0.7	0.8	-	0.3	2.0	1.0	25.0	2.0	27.0	1.7
	50.7	24.1	2.6	3.0	-	1.1	7.4	3.7	92.6	7.4	100.0	-
中国・四国 (10店)	19.9	17.9	1.4	1.2	0.5	0.9	4.3	1.4	47.5	1.8	49.3	1.1
	40.4	36.3	2.8	2.4	1.0	1.8	8.7	2.8	96.3	3.7	100.0	-
九州 (10店)	9.9	8.5	0.3	0.6	0.3	0.5	1.0	0.9	22.0	1.2	23.2	-
	42.7	36.6	1.3	2.6	1.3	2.2	4.3	3.9	94.8	5.2	100.0	-
合計 (100店)	13.5	16.9	1.1	1.3	0.6	0.9	2.6	2.0	39.0	2.9	41.9	0.7
	32.2	40.3	2.6	3.1	1.4	2.1	6.2	4.8	93.1	6.9	100.0	-

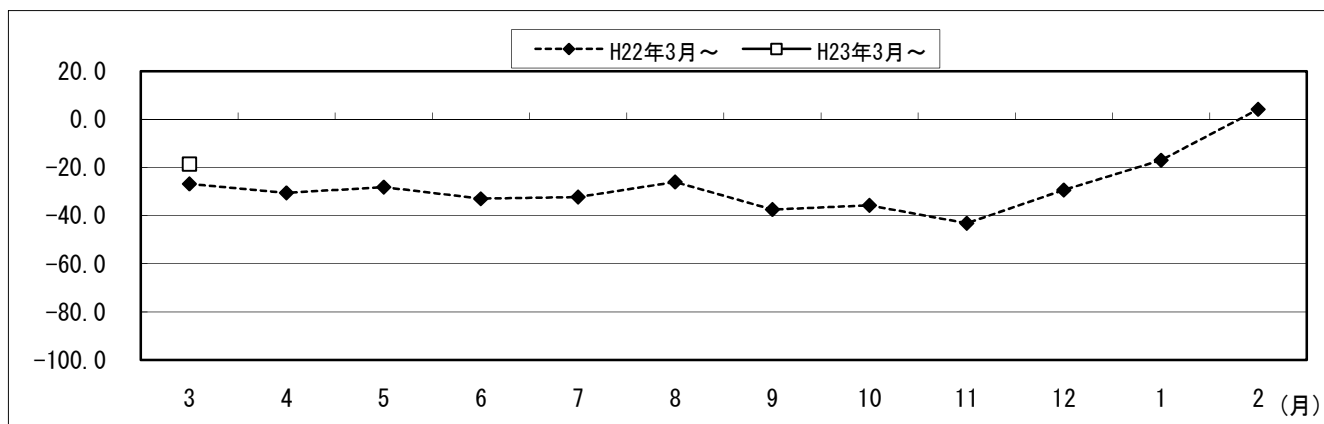
## 3. 1店当たり車種別仕入・在庫状況

（平成23年3月）

車種別		シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	合計	
仕入	本月(台)	10.6	15.7	0.8	1.5	0.5	0.9	2.4	1.7	34.1	
	前月比(%)	145.2	275.4	266.7	214.3	250.0	180.0	160.0	154.5	197.1	
	前年同月比(%)	109.3	151.0	100.0	88.2	125.0	100.0	120.0	106.3	124.0	
在庫	本月(台)	15.8	18.6	2.7	6.4	4.5	3.3	9.2	2.3	62.7	
	前月比(%)	89.3	100.0	93.1	108.5	102.3	100.0	93.9	92.0	96.5	
	前年同月比(%)	90.3	100.0	93.1	101.6	102.3	100.0	96.8	92.0	96.5	
在庫率	在庫/販売(倍)	1.2	1.1	2.5	4.9	7.5	3.7	3.5	1.2	1.6	
仕入：1店当たり 34.1台		在庫：1店当たり 62.7台		在庫率：1.6倍							

## 4. 業況DIの推移

(注) 業況DI = 今後2～3カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



## 5. 自店や他店の動向、消費者ニーズ、メーカー・卸への要望等（抜粋）

平成23年3月

### 【北海道・東北】

- 東日本大震災により被害を受けられた被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。3月は1年のスタート月であり、少々寒いが(+7℃くらいの日中気温)天気続き、部修と新車販売がよかった。(北海道)
- やはり景気が悪いのか中古車を求めるお客さんが多かった！(北海道)
- いよいよシーズン到来です。月初めに真冬に逆戻りする大雪…寒さもあったのでなかなか売上げになりませんでした。(北海道)
- 3月25日シーズンin。大災害の直後だけにどう推移するか予測不能です。(北海道)
- このたびの東日本大震災に際し、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。皆で東北根性でがんばりましょう。(青森県)
- 地震後自転車の入荷が悪くなり、在庫が足りなくなる状態が続いたが、これは4、5月も同様だと思うので何とか在庫を確保しなければ。(青森県)
- 震災特需。(宮城県)
- 3月11日の地震で当店もガラスが割れ、壁が落ちる被害がありました。電気と水道が復旧するまで1週間以上かかり、今までの当たり前の生活がいかに文明に甘えていたか思い知らされました。交通網がマヒし、ガソリンも思うように入手できない間、自転車が本当に役立ちました。この仕事を続けていてよかったと心の底から感じています。“街の自転車屋は生きています。”(宮城県)
- 東日本大震災の物流ストップ、特に燃料不足による一時的な売上増の商況でした。(福島県)
- 3月10日までの数字です。海に近いお客様が津波、南部は原発の20km圏内に入り、商圏は大変小さいものとなりました。当店4月7日に一時避難から戻り営業再開。被災地としての営業ですが、待っていてくれるお客様がいる限り、必要とされる店としてがんばります。(福島県)
- 東日本大震災と原発事故のため岩手、宮城、福島、茨城と多大な損害を受けました。私の店舗もめちゃめちゃになりましたが、営業は休まずに販売、修理を行いました。ガソリン不足の影響もあり在庫車はほとんど販売しましたが、商品が入荷しないのでお客様には待っていただくしかありませんでした。3月末にはポチポチ商品も入荷してきましたが、通学車、電動アシスト自転車が間に合いませんでした。津波と地震とでお店も商品もみな流されてしまった販売店さんもいらっしゃいます。原発で避難生活を送っている方やお亡くなりになった方もいらっしゃいます。毎日、新聞・テレビをみて涙の出ない日はありません。余震もなくなり、原発の早期収束を祈ります。風評被害も堪えます。全国の皆様のご理解をお願いいたします。(福島県)

### 【北関東】

- 東日本大震災のため、大混乱となりました。(茨城県)
- 震災の3日目から営業したら、今まで商売していて初めてです。地震でガソリンが買えないので配達ができない、と初めから話したが、お客様が持ち帰るし朝9時から夕方5時まで客足が途切れず、コンビニのように品物を持って並んでいるのです。安物が一番売れましたが、色、形に関係なく売るのがあれば来た客がみんな買っていくのです。でも1週間ほどでホームセンターが始まったら客も品物を選ぶようになり、少なくなりました。(茨城県)
- 20,000円以下のホーム車は、震災によるガソリン不足のための一時的な需要でした。(栃木県)

### 【南関東】

- 地震の影響で当店始まって以来の販売台数でしたが、被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、復興されることを望みます。(埼玉県)
- 今回の震災で被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。3月11日都内では、帰宅のため自転車がほとんど完売されたとの情報が流れた。逆に3月14日(月)、電車が止まり都内に近い当店では、通勤のため安い自転車から売れ始めた(当店では最低2万円)。その後春需も重なり、新車の販売、万に備えての古い自転車の修理が多く、例年になく数字が伸びた。しかし今回の震災を考えると決して喜べない。かえって暗くなる。それより一日でも早く復興を願うばかりである。(千葉県)
- 毎年3月末から通学、通勤車がかなり動く時期ですが、3月11日の災害直後から通勤用の足として注文が殺到し、陳列した婦人車、スポーツ車が完売するほどでした。その影響なのか各メーカーさんの在庫も薄くなり、通常の注文車が入荷しづらくなり、お客様に待っていただくことがいま現在も多少続いている状態です。(東京都)
- 3月の地震がありなかなか落ち着きませんでした。当店はその影響がなく、毎年どおりいつものペースです。MTBやスポーツ車、電動アシスト車の動きや下見が多いので、販売につながるといいです。お店も商品も工具もあるのでありがたいと思います。“がんばろう、日本の自転車屋”(東京都)
- 「3.11」を期に自転車の有用性が見直されたような気がします。都内の交通マヒにより、当店もその恩恵を多少受けましたが、あの混乱を経験された方が「もうあの苦労はしたくない」と震災後も購買は好調でした。思わぬところでの今回の震災でしたが、業界として自転車全体のイメージアップにつながったと思っています。販売も増、修理も増、3月は数字的にはよかったと思います。ただ心の傷は相当深くついてしまったと思います。明るい話題がこれからも増えていけたらと思います。(東京都)
- 被災地にて、自店の経営が困難な状況にありながら利益度外視で復興のために尽力されている自転車業界関係者の方々に、心よりお見舞い並びに敬意を申し上げます。(東京都)
- 震災で被災されました皆さまにお見舞い申し上げます。同業の方も多数おられるかと思うと胸中穏やかではありません。当方では、有料コインポンプ使用料を義援金にさせていただきます。震災当日はパニックでしたが、後半は大不況に…。4月は何とか平年並みに戻ってほしいものです。(東京都)

- 今月は地震により自転車が売れた。皮肉なことである。(東京都)
- 震災のためちょっと好転。(神奈川県)
- 去年は例年になく低価格車が多かったが、今年の3月は月初めから平均に売れ行きもよい方向でした。3月11日の件で1割くらいアップでしょうか。あまり喜ばしいことではないのですが…。電動アシスト車は順調に伸びています。(神奈川県)
- 自転車は1台も売れなかった。修理はまあまああった。昨年とくらべると少しよかった。(神奈川県)

#### 【北 陸】

- 地震のため自転車の入荷が遅れ4月にずれ込み、組み立てに一生懸命でした。(新潟県)
- 春需の中心車、通学用前年並み販売達成。積極外交した結果で喜んでおります。(新潟県)
- 今年は最悪です。当店自身の事情とともに東日本大震災以後、右肩下がりに自転車販売が落ち込んでいます。仕方がないので、自分のペースを守りいつもどおり誠実にお客様に対応していこうと思っています。(新潟県)
- メーカー在庫がなく、注文を受けてもキャンセルに！(石川県)
- 3月の販売台数は例年よりも多く売れた。子供の数が多かったからかも？ 値段の高い通学車も多かった。1月の売上げがなかったから仕方ない。(福井県)

#### 【中 部】

- 3月も中旬以降は寒い日もありましたが、ようやく春らしくなりました。天気の良い週末は来客もあり、やっと自転車屋らしくなってきました。新車販売も例年並みでした。当地方は通学車については、ホームセンターの1万円前後の自転車の購入が通例になっていて需要はほとんどありません。通学車としてメーカー車の売れる地方の方がうらやましく思います。(山梨県)
- 自転車はホームセンターから買うもの、修理は我が家へ、の感じです。お客様に重宝がられてはいますが…。(山梨県)
- 修繕車減少。(長野県)
- 通学車も順調に売れた。東北の自転車店様ががんばって下さい。(長野県)
- 子供の数が少なく通学車も終わりです。高校の通学車の修理は多かったです。(岐阜県)
- 今年はクロスバイクの売れ行きがよくて、メーカー在庫も欠品気味になっています。とあるメーカーの人気車種は毎年在庫豊富だったのに。今年は年中欠品気味だった。もう少し計画して生産してほしいです。(岐阜県)
- 震災被害を受けられた皆さまに、まずはお見舞い申し上げます。地震、津波のあった後はすべての活動に自粛ムードが高まり、例年並みだった3月前半とは打って変わり、静かな後半となりました。異常な売れ方をしている地方もあると聞きますが、いずれにしても1日も早くもとの生活に近づけますよう、祈念しております。(愛知県)
- 高校通学の自転車は年々減少の一途です。その代わり小学高学年から中学一年生の買い替えが多くなりました。震災の影響かメーカーの自転車の欠品が多かったと思います。(愛知県)
- 売上額は十数年前に比較すると3分の1、他店も同様です。子息に跡を継がせることもできない。社会は廉価志向で、大型スーパー店では展示車の80%が1万円台の前半を占めている。卸価格と同じくらいで売られている。技術で売った時代は遠くなりました。(愛知県)
- 少し暖かくなって動き始めたが、通学車はまるでダメ。安い自転車しか売れません。(愛知県)

#### 【京阪神】

- 3月に入ってもなかなか暖かくなり、そして東日本大震災の発生でなかなか自転車も思うように動かず、商品も入らずでしたが、地震にあわれた方を思うと、働けるので日々こつこつと修理などやろうとがんばった月でした。後半予定通り売り出しもしましたが、前年より動きは悪かったです。早く暖かくなり春らしくなると、少し気分が変わるのでよくなると思います。初心を忘れずがんばります。(京都府)
- 今年も通学車は例年以上に売れなくなりました。最近修理の減少が気になります。(大阪府)
- 1km圏内にまた自転車屋がオープンしました。大小あわせて11軒になりました。今月4駅ほど離れたところに巨大ショッピングモールもオープンします。人の流れなどどう影響があるかわかりませんが、悪くなるような気がしてなりません。(大阪府)

#### 【近 畿】

- 今月3月は春需というのにメーカー車の通学用自転車があまり動かず、マニアスポーツ車の注文が数台入り、組み立てに忙しかった。一般車では、カマキリアップハンドルの自転車が街乗り用に動いたが、修理が少なくなった。(三重県)
- 通学自転車は例年通りの営業活動を行い、生徒数が少ない割には売れた方だった。毎年のことながら大変疲れました。(滋賀県)

#### 【中国・四国】

- 通学車はあまり期待しなかった割に何とか動いた気がします。今年はスクーターの中古車が動く気配があり準備していたが、それも予想を上まわって仕上げが間に合わない状態です。(鳥取県)
- 1、2月にくらべて少しは動き始めた。修理の方もタイヤ交換、ポンプ、部品の売上げもあった。「教育テレビで『自転車の旅を走る』を見た」といってスポーツ車が売れた。自転車に関する番組はいろいろためになり、私たちも楽しみに見えています。(岡山県)
- 今月は自転車の販売が前年度を少しだけ上まわって、金額的にも昨年よりは高額な商品が売れました。3月11日の東北地方を襲った大震災で物流がストップするかと心配していましたが、何とか間に合いました。しかし全体的に自粛ムードで景気の悪化が心配です。(山口県)

- オートライト志向になってきました。（徳島県）
- 修理、販売ともに好調な3月でした。明るいカラーが人気ですね。（高知県）

【九州】

- 3月は通学車でやや高めの自転車が出たが、年々台数は減っている。4月も東日本大震災の影響で景気の方が心配です。（福岡県）
- 通学時期になり、いつもより売れてきたようです。しかしこれも来月までくらいだと思います。その後はいつもと変わらないようです。今は専門店以外でも修理までするところが多くなって販売、修理もますます少なくなるようですね…困ります。でも何とかがんばっていくしかないですね。（佐賀県）
- 少子化とともに通学車の売れ行きも減少してゆくばかりであるが、打ち続く不況で家庭の経済も厳しく、親はギリギリまで延ばしてスーパーの安物でと思っていても、子供たちはやはり友だちと同じものがほしく、結局駆け込み注文となり品ぞろえには苦労したが、結果はよかった。長期の不況に対処できない政治、さらには未曾有の東日本大震災の発生と今後の復興が第一義という中で、果たして国民特に庶民の生活は将来どうなるのであろうか？ 業界も営業の格差と店主の老化等悪条件の重なりで、今後自然淘汰がすごい勢いで進むであろう！ しっかりと気を引き締めてかからねばなるまいて！！（熊本県）
- ホームセンターの安売りで、シティ車が売れない。スポーツ車も販売が減ってきている。厳しい。（熊本県）
- 震災、原発事故で今後の消費動向の低下が気にかかる場所ですね。むだな買い物は控え、本当に必要なモノをじっくり選んで買う。そういう傾向はこれから一層強くなっていくように思います。小売店としてもそれに対応していきたいと考えます。（大分県）
- 同業者に聞いても今年はどこも絶不調だった様子。当店でもアンケートに無記入は初めて(アンケート開始後)。つまりこれ以下はない！ 好転あるのみ。（宮崎県）
- このたびの大震災で日本中が元気がなくなったような感じがします。でもこのままでは日本は終わらない。世界中からがんばれ、がんばれとエールを送ってくれているではありませんか。3月後半から少しずつ動きが出てきたように思います。暗くなりがちな気持ちを明るく、明るくがんばりましょう。私も気持ちだけの義援金を買い物のたびに行動しています。見返りを求めない心、自分たちの仕事の中でいうサービスの心、お客さんの喜ばれる顔を見ていると自分もうれしいです。（鹿児島県）

## 6. 販売動向の特徴(平成23年3月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：%]

価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車				
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年		
10,000円以下	1.1	0.9	0.7	4.6	7.8	6.0	0.0	4.0	4.8	0.8	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10,001～13,000円	6.9	2.1	3.5	18.1	13.7	14.4	3.8	12.0	3.2	3.0	1.7	1.6	1.8	16.0	2.5	0.0	2.2	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13,001～17,000円	4.1	1.9	3.9	14.4	11.2	11.0	21.9	20.0	25.8	6.1	1.7	5.4	8.9	12.0	25.0	0.0	2.2	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
17,001～20,000円	5.1	3.7	5.6	10.5	13.1	9.3	19.0	8.0	11.3	18.9	15.0	11.6	51.8	36.0	42.5	5.4	0.0	1.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20,001～23,000円	4.6	2.3	3.6	9.0	10.4	10.1	9.5	8.0	3.2	24.2	23.3	24.0	25.0	24.0	27.5	1.1	2.2	1.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
23,001～27,000円	7.1	6.4	7.2	10.4	12.2	9.2	11.4	4.0	3.2	30.3	36.7	39.5	5.4	8.0	0.0	0.0	2.2	2.8	0.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
27,001～30,000円	12.0	10.6	10.1	7.3	8.2	10.8	10.5	12.0	8.1	12.9	10.0	13.2	3.6	4.0	2.5	7.5	4.4	4.2	1.9	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30,001～33,000円	6.3	6.5	4.5	8.2	7.3	8.7	7.6	0.0	6.5	1.5	10.0	3.1	0.0	0.0	0.0	4.3	4.4	1.4	3.4	3.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
33,001～37,000円	11.7	6.0	14.8	7.5	6.5	9.6	3.8	4.0	4.8	1.5	1.7	1.6	0.0	0.0	0.0	4.3	4.4	5.6	6.7	3.7	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
37,001～40,000円	9.6	8.0	8.7	4.7	4.1	4.7	3.8	0.0	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	11.1	5.6	7.8	4.5	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
40,001～50,000円	18.7	21.6	19.9	4.1	4.5	3.7	2.9	12.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4	4.4	11.1	14.6	8.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
50,001～70,000円	12.8	30.0	17.6	1.1	1.0	2.6	1.9	0.0	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.0	20.0	20.8	20.5	17.9	20.4	4.1	2.0	1.4	0.0	
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.9	8.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	13.3	18.1	19.4	17.9	15.3	52.3	56.6	45.7	0.0	
100,000円以上	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.9	8.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	28.9	25.0	22.4	42.5	37.2	43.7	41.4	52.9	0.0	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車				
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年		
ブラック系	17.9	11.5	16.9	4.8	11.3	9.5	22.6	16.7	9.7	2.1	3.1	4.3	3.8	11.1	16.7	25.9	26.1	34.6	24.5	26.3	29.3	3.8	5.1	4.3	0.0	
シルバー系	56.4	57.4	65.1	54.2	43.5	63.5	19.4	27.8	16.1	4.2	9.4	4.3	0.0	0.0	11.1	3.7	8.7	11.5	5.7	2.6	2.4	39.6	41.0	51.1	0.0	
ホワイト系	9.0	3.3	4.8	2.4	3.2	1.4	12.9	16.7	16.1	4.2	0.0	10.9	0.0	0.0	0.0	33.3	30.4	11.5	26.4	23.7	34.1	3.8	10.3	14.9	0.0	
ブルー系	11.5	9.8	6.0	15.7	16.1	12.2	9.7	11.1	6.5	66.7	50.0	50.0	50.0	22.2	22.2	14.8	13.0	15.4	15.1	15.8	9.8	11.3	12.8	8.5	0.0	
パープル系	0.0	1.6	0.0	1.2	0.0	1.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	
レッド系	0.0	4.9	2.4	6.0	11.3	2.7	12.9	5.6	16.1	4.2	0.0	6.5	15.4	11.1	5.6	7.4	4.3	11.5	5.7	5.3	9.8	9.4	2.6	4.3	0.0	
グリーン系	1.3	1.6	1.2	1.2	1.6	4.1	9.7	0.0	12.9	4.2	0.0	4.3	0.0	5.6	0.0	0.0	4.3	3.8	11.3	7.9	2.4	1.9	5.1	0.0	0.0	
イエロー系	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	2.1	3.1	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	1.9	2.6	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	
オレンジ系	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	3.2	5.6	3.2	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ピンク系	0.0	1.6	0.0	6.0	6.5	2.7	0.0	5.6	0.0	4.2	9.4	6.5	19.2	27.8	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0
ブラウン系	2.6	3.3	2.4	4.8	4.8	1.4	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.6	15.4	14.9	0.0	
2色以上・その他	1.3	4.9	1.2	1.2	1.6	1.4	9.7	5.6	9.7	8.3	21.9	10.9	11.5	11.1	11.1	14.8	13.0	7.7	7.5	15.8	12.2	5.7	2.6	2.1	0.0	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：%]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	16.5	48.5	35.1	-18.6
前月	29.5	45.3	25.3	4.2

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)

